



2018年9月12日発行

2018年9月号 (通算216号)

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2018~2019主題】

国際会長	ムン・サン・ボン	「Yes, We Can Change!」
アジア太平洋地域会長	田中 博之	「Action!」
東日本区理事	宮内 友弥	「為せば、成る」
あずさ部長	廣瀬 健	「未来はそれに備える人のものである」
東京武蔵野多摩会長	山口 直樹	「地域に根差した活動を! 理事と共に・YMCAと共に」

【クラブ役員】

会長	山口直樹
副会長	大輪匡史
書記	麻生由美子
	小林文彦
会計	鈴木 誠

I B C Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang Club (韓国)
D B C 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2018年
9月の聖句

**常に主を覚えてあなたの道を歩け そうすれば
主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる (箴言第3章6節)**

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利を伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAに尽くそう
1. 世界的視野をもって国際親善を図ろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

9月例会の予定

強調月間：ユース
 日時：9月12日(水) 19:00~21:00
 場所：東京YMCA西東京コミュニティーセンター
 司会：鈴木 受付：小林、板村
 ドライバー：野尻
 <プログラム>

- * 開会点鐘 (会長)
- * ワイズソング
- * ゲスト・ビジター紹介 (会長)
- * 会食
- * リーダースピーチ
リーダーたちから学ぶ時間
- * 連絡・報告事項
- * にこにこ
- * ハッピー・バースデー
宮内さん、山口メネット
- * 閉会点鐘 (会長)

8月例会報告

在籍者	12名
出席者	6名
メーキャップ	4名
出席率	83%
ゲスト	3名
ビジター	11名
ネット・コメント	1名
にこにこ	0円

巻頭言

小林 文彦

6月から新しい職場で社会復帰しました。これまでとはまた違った業務の職場で、3か月が過ぎようやく回りを見渡す余裕が出てきた感じがします。個人情報や適正に扱うためのアドバイスを行うような業務内容で、仕事を通して今まであまり気にしていなかったような事に気づかされる日々が続いています。

AIとかビックデータ、ブロックチェーン、シンギュラリティ。これまで、なんか聞いた事はあるけどそれなんなの?といった事が知らない間に世の中に広まっていて、日々の生活にジワジワと影響を与えているのだと感じます。

普段何か判らない事があると、何気なく「ググってみるか」と使っているGoogleですがこれまでの自分の検索内容や、wordで作った仕事の詫び状やら、Excelなどなどすべての利用記録がGoogleのサーバーに残っているらしい。実際に新聞記者が記録開示を求めたところ、DVD10枚分くらいの自分の記録が出てきてゾッとしたという記事もでていました。Googleをはじめとする大手IT各社はこれらの利用記録を使い、様々に加工してデータとして提供して巨額な利益を上げていて、やはり「上手い話しには裏がある」と言うか、「タダより高いものは無い」と言う昔ながらのいい伝えが、最先端を行く情報社会において的を得ているのは何とも皮肉な話だと、アナログ人間は納得した。

この個人情報の独占にたいして、欧州では個人情報はその個人に帰属するものだ、という動きが出てきて、世界中に広がろうとしている。さすがの大手IT各社もこの流れには逆らえず対応を迫られている。

9月15日の健康増進カフェのテーマは「メディア病」。幼い頃に過剰にTVやビデオ端末に接すると様々な発達障害や感情のコントロールに影響が出るらしい。幼児だけでなく、小学生や学生、社会人なども過度なTVゲームによる障害は起こるとか。

端末、ソフト、システムなどこれからの世の中の必需品との正しい使い方、接し方など健康増進カフェをきっかけに考えてみたい。

8月第1例会（第26回原村例会）

（東京武蔵野多摩クラブ、松本クラブ合同例会）
 日時：2018年7月28日（土）11:30～29日（日）12:00場所：原村「こひつじ幼稚園」
 参加者（敬称略）：
 山口（会長）、伊佐、板村、野尻、宮内、渡辺、小坂、川上（東京武蔵野多摩および関係者：8名）、正木夫妻、金井、赤羽、大和田、柳沢父子（松本：7名）、田草川（甲府：1名）、廣瀬（部長）夫妻、茅野、米長、松村（甲府21：5名）、大野（直前部長）（東京西：1名）、菰淵（東京サンライズ：1名）、塩原牧師（1名）、中山（こひつじ幼稚園理事）、中村（園長）、小林、倉掛、河部（こひつじ幼稚園：4名）

例会は、廣瀬あずさ部長の公式訪問があり、6クラブのワイズ、友人、こひつじ幼稚園の先生方を含め計29名が参加し、にぎやかな会となりました。

台風12号が観測史上初の異例のコース（日本列島を東から西に縦断）で関東・中部地方へ進んでいる最中の例会でしたが、夕刻から夜間に少し風雨が合った程度で、無事に終了できました。

移動は車2台（山口、渡辺）。宿は宮内ワイズのアレンジで「ダイヤモンドハケ岳美術館ソサエティ」。

初日はまず昼食で、こひつじ幼稚園の自家製の食材を用いた先生方の心こもった美味しい手料理（原村例会名物）でおもてなしを受けました。



卓話は甲府21クラブの米長晴信ワイズ（1965生、1990～2006フジテレビ報道局勤務、2007～2013参議院議員）から「情報発信の技術・心得」と題して60分間お話を聴かせて頂きました。

氾濫する情報に惑わされず正しい情報（源）を得ることの重要性、情報の最後は一人ないし複数の人にたどり着くことなど、ご自身のテレビ会社勤務時代の海外取材活動の例を用いて説明頂きました。また、情報発信については、3分間スピーチの実例をご自身で示され、併せスピーチのコツについてお話がありました。コツは「所定の時間より短めの原稿を用意する、話しても話さなくても良いもの（クッション）を別に用意しておく、レジメを用意する（聞く側のフォーカスができる）、自己紹介は冒頭でおこなう、自己紹介には話すことと関係あることを抜粋して入れる、時間を守る（大切な話は最後にするので、どんな良い話でも時間を越すと意味がなくなる）」ということで、大変参考になりました。

14時30分に柳沢一花ちゃん（3歳）により閉会点鐘。台風接近中であるため、初日の行事は例会のみで終了、解散。当クラブのメンバーは近くの温泉で入浴と夕食を済ませ、宿に入りました。

2日目は、「ハケ岳リゾートアウトレット」でショッピング。その後、中村園長先生ご紹介の「Kampo & Organic Asuha」で、中村先生、正木さんご夫妻、当クラブ8名の計11名で昼食。店は漢方薬とオーガニックカフェを併設する店。メニューは店主で医師の渡邊里美さんが自然農法で栽培した野菜を中心とした手作り料理。11人分を全て一人で手作りし、一人でサーブ。薬・食・健康のお話を伺いながらおいしく頂きました。東京に戻ると台風は過ぎ、晴れて暑い午後となっていました。

中村園長先生始め諸先生方、松本クラブほか本例会に参加頂きました皆様有難うございました。お蔭さまで楽しい例会となりました。来年も皆様とお会いできますことを楽しみにしています。

（板村哲也）



YMCAとワイズメン共催の公開講演会 報告

2018年9月1日（土）14：30～16：30
 於宇都宮市美術館講義室
 協力：子どもサンサンプロジェクト、後援：宇都宮市

子どもの貧困という社会的な課題に関連して9月から始まる「とちぎYMCA子どもの居場所」公開講演会をYMCAと宇都宮にある二つのワイズが協働で行われた。これを宇都宮市が後援をし、栃木県「子どもサンサンプロジェクト」の一環行事と位置付けて栃木県全域にこのような子どもの貧困に対応する運動を市民側から起こしている。YMCA、ワイズメンズクラブ、宇都宮市、そして他の子どもの居場所等が連携してこの公開講演会が開かれた。

講師には、子どもの時の親によるDV経験、親の離婚、母親の精神疾患、生活保護、中学時代のいじめ、親への反発、という様々な現実を経験しながら、8歳からの10年近くを過ごし、2年前念願の宇都宮大学への進学を果たした内田さん（農学部2年）。何がそうさせたのか、どうして乗り越えられたのか、その時の気持ちは...と淡々と自分の過去を語る内田君。助けられたのは生活保護世帯の子どもの塾（学習支援団体）だったと言う。そこは勉強だけでなく本当の心の居場所になっていたと。学校では、生活保護のことなど話せないが、ここではみんな知っていて、安心して何でも話せる...と語る内田君。そもそも実験などが好きで、好奇心も強かった。現在は大学でミジンコの研究や小松菜の適性土壌の研究などを調べていて楽しい。できれば農業高校の先生になりたいという強い思いが大学進学を可能にしたと思う。

聴衆も貧困は金がないという貧しさではなく、体験が不足したり、偏ったり、友達との関係も難しくなり、孤独、知られたくない...といった体験の積み重ねこそが子どもの貧困の特徴ではということが分かってきた。「よくぞ、この状況を乗り越えてここまで来たね」という声も挙がり、それらを淡々と語る内田君の勇気と心の姿勢に感動がわいてきた。

聴衆は100人余り、その中には東京から来ていただいた東京武蔵野多摩クラブの7人も。ありがとうございました。終わった後の餃子とビールとカラオケ。これも楽しかった。東京で家に着いたのは深夜近くになったことと思います。応援団に心から感謝です。

（山田公平）



左から山口さん、内田さん、塩澤総主事、山田（司会）

西東京YMCA便り

8月26日、東陽町センターで「夏祭り」が開催されました。「さくら国立」のメンバーと夏祭りに遊びに行きました。ヨーヨー釣りや輪投げ、吹き矢、美味しい屋台を堪能すると、「何か手伝いたい」と言うので、武蔵野多摩ワイズに相談して焼きとうもろこしの出前販売員を担うことになりました。「おいしい焼きとうもろこしいかがですか？」と声をかけていくと、多くの方に購入いただき、本人も満足な売上となりました。

▼9月の予定

9月23日（日・祝） 第32回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン
 西東京センターのメンバーも走りますので、ぜひ一緒にチャリティーランを盛り上げていきましょう。

今後の予定

- | | |
|------------------|----------------|
| 9月 | 10月 |
| ・12日（水） 第一例会 | ・10日（水） 第一例会 |
| ・23日（日） チャリティーラン | ・20日（土） あずさ部大会 |
| ・26日（水） 第二例会 | ・24日（水） 第二例会 |
- その他、理事通信をご参照ください。